



まえがき

第1部 システムアーキテクト試験の概要と対策

■ 第1章	試験概要	8
■ 第2章	出題範囲	17
■ 第3章	出題傾向	21
■ 第4章	合格のツボ	29
■ 第5章	学習方法	37
■ 第6章	試験対策	41
	ダウンロードサービスのご案内	47

第2部 午前II試験の対策とポイント

■ 第1章	午前II問題（専門知識）の学習方法	51
■ 第2章	システム開発技術	54
■ 第3章	オブジェクト指向分析	86
■ 第4章	構造化分析	132
■ 第5章	システム化計画	159
■ 第6章	要件定義	173
■ 第7章	調達計画・実施	183

第3部 午後Ⅰ試験の対策とポイント

- 第1章 午後Ⅰ試験の合格点突破に必要なこと 197
- 第2章 午後Ⅰ記述式問題の解法テクニック 201
- 第3章 午後Ⅰ試験に出題される企業活動 219
- 第4章 午後Ⅰ記述式問題の解法テクニックの活用 230
- 第5章 午後Ⅰ記述式問題の解法テクニックの応用 305

第4部 午後Ⅱ試験の対策とポイント

- 第1章 午後Ⅱ試験の合格点突破に必要なこと 417
- 第2章 午後Ⅱ論述式問題の解法テクニック 422
- 第3章 午後Ⅱ論述式問題の解法テクニックの活用 480
- 第4章 午後Ⅱ論述式問題の解法テクニックの応用 490
- 第5章 合格できる論文 555

巻末資料

- 過去の論文 626
- 午前の出題範囲 633
- 索引 641

商標表示

各社の登録商標及び商標、製品名に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分に尊重いたします。

第4章 合格のツボ

4.1 本章のねらい

毎年、本書を改訂していますが、その際には読者からのアンケートの内容、各種書評を参考にしています。今回の改訂にあたり当初は、午後Ⅱ論述式試験における論述テクニックが分かりにくいのではないかと考えていました。そこで、今回の改訂では説明の字数を抑え、内容も簡潔にまとめる予定でいました。しかし、読者アンケートを分析すると、午後Ⅱ試験における論述テクニックは読者に受け入れられていることが分かりました。

今後はアンケートの内容を踏まえて、本書を改訂していく予定です。例えば今回の改訂では「論文ネタ」というコラムを追加してみました。今後、アンケートの評判がよければ増やしていきたいと考えています。

このような背景のもと、本章では、次のねらいを設定して書いてみました。

- (1) 合格者の成功パターンを読者の勉強活動に生かして、効率的に合格してほしい。
- (2) 読者アンケートの回答内容を教材づくりに反映させて、本書によって、読者が効果的かつ効率的に試験勉強ができるようにしたい。

読者の皆さまには、後述する「合格虎の巻」をダウンロードしていただき、システムアーキテクト試験に合格してほしいと考えています。

4.2 合格者の今

10年以上前の話です。企業によっては、金色のプレートに情報処理技術者試験の合格者の名前を刻印して役員室の前に掲載していました。そのころ、情報処理技術者試験に合格した人は、どのような人生を送っているのでしょうか。

(1) 筆者のケース

上級のエンジニアは、自分が所属する組織だけではなく、顧客など外部の組織の人達ともコミュニケーションをとって仕事を進めます。コミュニケーションでは、第一印象が重要です。筆者がシステムアーキテクト試験（実際にはアプリケーションエンジニア試験ですが、この呼称にします）に合格したころ、

名刺の肩書きに「システムアーキテクト」などと書いてあると、第一印象点でも、客観的な評価が高くなるため、もてはやされた時期がありました。そのころは、資格があるという理由で、コンサルタントとしての仕事を依頼されたこともありました。

しかしながら、今は筆者の名刺にはそのような文言はありません。なぜでしょうか。筆者の年齢になると、情報処理技術者試験に合格しているということは当たり前になるからです。「人生の早い時期に合格すればするほど、試験合格のメリットを多く享受できる」のです。読者の皆さま、次の試験では絶対合格を目指しましょう。

筆者は、以前は国内外の2社でシステム開発やシステム運用の仕事に従事していました。あるとき、仕事場の隣席の後輩がシステムアーキテクト試験に合格したことを私に打ち明けました。後輩なので先輩に言いにくかったのでしょう。彼は「記述式試験はケーススタディとして勉強しても仕事に役立つよ」と言うのです。彼の言葉に筆者も興味をもち、受験勉強をしてシステムアーキテクト試験に合格しました。そして、今があります。そのときに勤務していた会社は他社に吸収されてしまい、管理職であった筆者はリストラされました。もし、システムアーキテクト試験に合格していなければ、別の仕事をしていただと思います。40年間コンピュータの勉強や仕事をした筆者が言いたいことは、「**国家試験合格は身を助ける**」ということです。

(2) 情報処理技術者試験に合格して人生を成功させた人のケース

2人の管理職候補のうち、1名しか昇進できないケースを考えてみましょう。このようなケースでは、往々にして2人の社内評価の優劣がつけにくいものです。では、どのようにして、優劣をつけるのか。その場合、社内評価ではなく、客観的な外部評価を基に優劣をつけるということです。例えば、片方の管理職候補がシステムアーキテクト試験に合格していれば、合格していない片方の管理職候補の方は、優劣の決定に納得せざるを得ないでしょう。

筆者の同級生で、20歳代でシステム監査技術者試験に合格した人がいます。彼は一部上場企業の役員になりました。さらに同窓会では、ストックオプション関連で確定申告では多額の税金を払ったと筆者に話していました。

現在、読者の皆さまが勤めている会社では、情報処理技術者試験の合格者へのメリットは少ないかもしれません。あるいは、今は読者の皆さまにとって試験合格は必須ではないかもしれません。例えば筆者の場合、システムアーキテクト試験に合格して会社に報告しても何もメリットはありませんでした。

でも、筆者のように、職業が変わるなどの変化が訪れるかもしれません。も

第2章

システム開発技術

2.1 システム開発プロセス

学習目標

- ・システム開発のプロセスを挙げて、それぞれを説明することができる。
- ・システム要件の振分けについて説明することができる。

(1) システム要件定義

① システム要件の定義

開発プロセスの前の要件定義プロセスの成果物である要件定義書にある、業務要件とシステム要件（機能要件、非機能要件）を基に、開発するシステムの具体的な利用方法を分析することで、システム要件を更に詳細に定義します。また、システム要件には次の項目などがあります。

- システム化目標、対象範囲
- システムの機能及び能力、ライフサイクル
- 業務、組織及び利用者の要件
- 信頼性、安全性、セキュリティ、人間工学、インタフェース、操作及び保守要件
- システム構成条件
- 開発環境
- 品質、コストと期待される効果
- システム移行要件

なお、システム適格性テストの方針やテスト要件をこの時期に決定します。

② システム要件のレビュー

適切なレビュー手法を採用して、システム要件定義書をレビューします。

バグの増幅作用のため、上流工程のバグは下流工程にいくに従って、大きな開発の手戻りとなります。システム要件定義のレビューでは、ドキュメントのバグをしっかりと摘出することが重要となります。



演習問題

問3

CHECK

(H25 秋-SA 午前II問 12)

全国に分散しているシステムの保守に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア 故障発生時に遠隔保守を実施することによって駆付け時間が不要になり、MTBFは長くなる。
- イ 故障発生時に行う臨時保守によって、MTBFは長くなる。
- ウ 保守センタを1か所集中から分散配置に変えて駆付け時間を短縮することによって、MTTRは短くなる。
- エ 予防保守を実施することによって、MTTRは短くなる。

解説

MTBFは、Mean Time Between Failureの略で、平均故障間隔といい、故障と故障の平均間隔です。

MTTRは、Mean Time To Repair、あるいはMean Time To Recoveryの略で、平均修復時間あるいは平均復旧時間といい、障害が発生してから修復するまでの平均時間あるいは故障したものを修理して回復するまでの平均時間です。
ア：駆付け時間が不要になっても、故障と故障の間隔は変わらないと考えることができます。したがって、適切ではありません。

イ：臨時保守とは故障発生時に行う修理のことです。修理をしても、故障と故障の間隔は変わらないと考えることができます。したがって、適切ではありません。

ウ：駆付け時間を短縮すると、故障が発生してから修理して回復するまでの時間を短縮することができます。したがって、MTTRは短くなりますから、(ウ)は適切です。

エ：予防保守を実施しても、故障が発生してから修理して回復するまでの時間であるMTTRは短くなりません。したがって、適切ではありません。なお、予防保守を実施することで、故障を回避できるのでMTBFは長くなります。

解答 ウ

2. 午前II
試験

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第5章

午後 I 記述式問題の 解法テクニックの応用



学習のポイント

Point

第5章では演習問題を、穴埋め問題対策や在庫管理業務問題対策など解法テクニックや基幹業務のトピックに分類して掲載します。学習に飽きてしまわないように、解法テクニックの習得に注力したり、業務知識の吸収に注力したりして、問題を解いてみましょう。なお、解答解説には適用した解法テクニックを明記していないものもあります。その場合は、どのような解法テクニックを使って解答を導いたのかを各自で分析しながら、解説を読むようにしてください。

5.1 穴埋め問題対策

学習目標

- ・問題文を読みながら、穴埋め問題を解ける。
- ・穴埋め部分の周辺や、穴埋め部分の周辺に類似した部分をチェックして解答を導ける。
- ・穴埋め問題を、単純ミスをせずに確実に得点できる。

穴埋め問題は必ず出題されます。基本的なアプローチとしては穴埋め箇所と類似した箇所が、図や表の中にあるか探し、あればそれを参考にすることです。加えて、同じ空欄 a が問題文中に複数ある場合、後の空欄 a を中心に解答を導くと、解きやすいことが多いです。

穴埋め問題では、正解がありそうな場所にキーワードやキーセンテンスがなくとも、あせらず落ち着いて、問題を読解することが大切です。

それでは、次の演習問題をみてみましょう。

3
午後 I
試験

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

演習問題 1

45分

(H20 秋-AE 午後I問4)

問4 ホテル管理システムの設計に関する次の記述を読んで、設問1～3に答えよ。

D社は、全国に約50のホテルを展開するホテルチェーンである。このたび、予約業務の改善要望に対応することにした。

[ホテル管理システムの予約業務の概要]

ホテル管理システムの予約業務の概要は、次のとおりである。

(1) 予約受付業務

- ① 顧客は、インターネットでホテルのホームページの宿泊予約画面から予約するか、又はホテルに電話して予約する。出発日を3か月先までとする滞在を対象に、宿泊プランを基に予約することができる。
- ② 客室には、“シングル”、“ダブル”、“ツイン”の3種類の客室タイプがある。
- ③ 宿泊プランは、客室タイプと、“朝食付き”、“朝夕食付き”、“食事なし”の食事コースの組合せで構成される。宿泊プラン料金は、客室タイプごとの客室料金と食事コースごとの食事料金の合計で算出される。
- ④ 顧客がインターネットで予約する場合は、宿泊予約画面から宿泊開始日、宿泊数、宿泊客室数及び宿泊人数（以下、宿泊申込情報という）を入力し、ボタンをクリックすると、滞在期間中に宿泊可能な空室の中から、宿泊客室数及び宿泊人数の条件を満たす客室タイプがチェックされ、それらの客室タイプから予約可能な宿泊プランの種類が検索されて、予約候補の宿泊プラン名と宿泊プラン料金の一覧が表示される。
- ⑤ 顧客が、宿泊プランを一つ選択し、ボタンをクリックすると、客室ごとの割当人数を入力する画面が出力される。
- ⑥ 顧客が、割当人数を入力し、ボタンをクリックすると、客室ごとの割当人数と客室宿泊金額、宿泊開始日、宿泊数及び予約全体の合計宿泊金額が表示される。
- ⑦ 顧客が確認ボタンをクリックすると、顧客名、住所、電話番号など（以下、顧客情報という）のほかに、到着時刻を入力する画面が出力される。
- ⑧ 顧客が必要事項を入力し、ボタンをクリックすると、顧客情報、予約番号、宿泊申込情報、合計宿泊金額及び到着時刻が表示される。顧客は、内容を確認して予約登録ボタンをクリックする。

- ⑨ 顧客が電話で予約する場合は、フロントの担当者が予約に必要な情報を受け、クライアント端末（以下、端末という）の予約管理画面に入力し、電話予約を受け付ける。予約に必要な情報は、顧客がインターネットで予約する場合と同じである。
- ⑩ 端末の残室管理画面では、3 か月先までの日付、客室タイプごとの最新の残室件数を照会できる。フロントの担当者が電話予約を受けた場合、該当日付の残室件数を照会し、宿泊可能かどうかは各部屋の予約状況を照会して受け付ける。
- (2) 予約確認・予約変更業務
- ① 顧客がホームページの予約確認／変更画面から、予約番号と電話番号の入力を行うことによって予約内容が表示される。
- ② 顧客が予約変更を行う場合は、表示内容を変更し、決定ボタンをクリックする。予約取消を行う場合は、取消ボタンをクリックする。
- ③ 顧客が電話で予約の確認や変更又は取消の依頼を行う場合は、フロントの担当者がその依頼を受け、端末の予約管理画面に適切な入力操作を行い対処する。

[ホテル管理システムのクラス図及びシーケンス図]

図 1 にホテル管理システムの予約業務のクラス図、図 2 にインターネットによる予約受付業務のシーケンス図を示す。

図 1 のクラス図では、予約画面及び予約管理を除くクラスはエンティティクラスである。クラスの操作とクラス間の役割は一部省略している。

図 2 のシーケンス図では、顧客情報の登録以降は省略している。操作の戻り値がない場合の記述は省略しているが、適切な文言を画面に返すものとする。

図 1、図 2 とも操作の引数は省略しているが、表に予約管理クラスの主な操作の引数と操作概要を示す。表項目の“図 2 の番号”は、図 2 のメッセージのシーケンス番号に対応している。

設問1 予約受付業務について、(1)～(4)に答えよ。

- (1) 表中の ～ に入れる適切な属性名を、図1から選び答えよ。
- (2) 表中の“宿泊開始日チェック”では、宿泊開始日の実在日チェック以外に、どのようなチェックが行われるべきか。システムで行うべきチェック内容を、35字以内で述べよ。
- (3) 顧客が入力する宿泊申込情報の中で、ある入力項目に大きな値が入力された場合、宿泊プラン名と宿泊プラン料金の一覧が出力されるまでの応答時間が長くかかるケースが考えられる。その入力項目を答えよ。また、メッセージのシーケンス番号5, 7, 9, 12, 15による各操作の中から最も負荷が増大すると考えられるメッセージのシーケンス番号を答えよ。
- (4) 表中の に入れる適切な条件式を答えよ。

設問2 予約確認・予約変更業務について、(1)、(2)に答えよ。

予約をした顧客が、インターネットで予約取消を行った場合、予約したことによって生成されている宿泊クラス及び宿泊明細クラスのデータを削除する操作が行われる。このほか、ある属性は、予約したことによって値が減少する更新が行われているので、予約取消では、その減少分の値を増加する更新の操作が行われる。

- (1) 予約取消のときに値が増加する属性は何か。図1中の属性名で答えよ。
- (2) (1)で増加すべき値を保有している属性は何か。図1中の属性名で答えよ。

設問3 ホテル管理システムの改善要望について、(1)、(2)に答えよ。

- (1) 改善要望を実現するため、五つのクラスのデータを参照することにした。参照の対象となるクラス名を答えよ。
- (2) 図3の客室番号“307”は現在予約が一切入っていない。このように特定の客室に予約が一切なかった場合を想定して、図1のクラス図では、その状況をクラス間の多重度でどのように表現しているか。関連する二つのクラス名を用いて、40字以内で述べよ。

〔解答用紙〕 コピーして活用してください。

設問1	(1)	a		b	
		c		d	
	(2)				
	(3)	入力項目		シーケンス番号	
(4)	e				
設問2	(1)				
	(2)				
設問3	(1)				
	(2)				

40点満点		(アイテックで設問ごとに予想)
設問1	(1)a~d : 各2点 (2) : 5点 (3)入力項目, シーケンス番号 : 各3点 (4) : 4点	
設問2	(1) : 4点 (2) : 4点	
設問3	(1) : 4点 (2) : 5点	

【解答例】

- [設問 1] (1) 空欄 a：宿泊開始日 空欄 b：宿泊客室数
空欄 c：割当人数 空欄 d：宿泊数
- (2) 宿泊開始日に宿泊数を加算した日が 3 か月以内の日付であること
- (3) 入力項目：宿泊数 シーケンス番号：7
- (4) 客室タイプコードごとの収容人数×宿泊客室数≥宿泊人数
- [設問 2] (1) 残室件数 (2) 宿泊客室数
- [設問 3] (1) 顧客, 宿泊, 宿泊明細, 客室, 客室タイプ
- (2) 客室クラスと宿泊明細クラスが, 1 対 0..*の多重度で表現されている。

【解説】

この問題ではクラス図とシーケンス図を中心に設問を設計しています。それぞれの図の読取り方におけるポイントを確認すると、次のようになります。

図 1 のクラス図では、メインの処理を予約管理クラスが担当していると考えます。MVC モデルでいう MODEL に該当します。また、図 1 では外部キーが省略されていると考えると解きやすいでしょう。例えば、宿泊クラスには多重度を考慮すると、顧客クラスからみると「多」側なので、顧客クラスの主キーである顧客番号があり、これが省略されていると考えることができます。他の宿泊クラスと宿泊明細クラスなどについても、チェックしてみてください。

図 2 のシーケンス図では、活性区間に注目します。メッセージシーケンス番号 4 がメッセージシーケンス番号 5 と 6 を呼び出し、さらに、メッセージシーケンス番号 6 がメッセージシーケンス番号 7 を呼び出していると読み取ることがポイントです。このように、順番だけではなく、活性区間をしっかりと確認するようにしてください。これが理解できていると、問題文中の表の「図 2 の番号」において、番号 4 の次が 8 である理由が分かります。すなわち、メッセージシーケンス番号 4 番の操作概要は、メッセージシーケンス番号 5 から 7 までの操作概要でもあるということです。

[設問 1]

- ・空欄 a：該当する空欄 a の操作概要をチェックすると「宿泊日が重なる既存

第5章

合格できる論文

5.1 SA 試験合格者の添削済論文

私は、ある企業において新入社員研修の一環として、毎年、SA 試験対策セミナーを実施しています。そのセミナーの受講生のうち、合格者の添削済論文を紹介します。オリジナルの問題文と添削論文をセットにして掲載しますので、問題文の趣旨に沿って書くことの重要性や、本書で紹介している論述テクニックをどの程度、使いこなせると合格できるのかなど、確認してください。

なお、各添削済論文と併せて実際の質問書と合格条件充足度評価表も掲載していますが、記載事項は、機密保護の観点から一部修正しています。

はじめに、1回目で平成27年秋期システムアーキテクト試験に合格した、商学部出身のペンネーム「ひろき」君が書いた論文です。文科系の学士が卒業直後に合格という例は少ないというのが実感です。彼の合格要因を分析してみたのですが、「人の話をしっかりと聞く」ということで落ち着きました。

平成27年秋期のアイテックの公開模擬試験の午後Ⅱ問題を論述した論文です。内容面は、奇抜なことを書いている部分がありますが、一般論を論文に書いても合格は難しい、事例の特徴や状況を踏まえて事例に特化した内容を論述するという面では、合格に近い論文といえます。

合格できる論文①

問題

業務統合に伴う情報システムのコード統一について

(875357)

最近では、企業の経営統合や事業の再編成などによって、業務統合が行われることが少なくない。業務統合を行う場合には、業務に付随して利用する情報システムも必然的に統合しなくてはならない。

統合の対象となる業務やシステムにおいては、類似する業務・システム間で、調達先、顧客、製品などといった同一のオブジェクトに対して、コードの付番やコード体系の構造が異なっており、統合の際に問題となる場合がある。そのような状況に対しては、業務統合の過程で問題点を解決し、速やかにコードを統一する必要がある。

システムアーキテクトは、様々な統合対象業務の事情を勘案し、統一コード体系を作成しなければならない。その手順としては、まず、現状の統合対象業務を調査した上で、現状のコード体系や業務間の差異を把握する。さらに、情報システムの統合において最も合理性のあるコード体系を検討しまとめ、遅滞なく統一を行う。

なお、検討の過程で、業務側の都合や要望を反映させるとともに、新コード体系整備が業務に与える影響に配慮し、コード変換処理の自動化や必要な整備作業の負荷低減などといった、限られた時間の中でコードを変換し統一していく工夫も求められる。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア〜ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わった業務統合に伴う情報システムのコード統一の概要と、コード統一に関する問題点について、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べたコード統一に関する問題点を踏まえ、どのようにコード体系を作成し統一していったか。業務側の都合や要望の反映内容を含め、800字以上1,600字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた一連のコード統一作業の際に、新コード体系整備の業務への影響に配慮し、限られた時間の中でコードを変換し統一していくためにどのような工夫を講じたか。600字以上1,200字以内で具体的に述べよ。

質問書

論述の対象とするシステムなどの概要（問1又は問2を選択した場合に記入）

質問項目	記入項目
計画又はシステムの名称	
① 名称 30字以内で、分かりやすく簡潔に表してください。	製造業における仕訳自動化を指向した会計システム GOOD! 【例】1.生産管理システムと販売管理システムとの連携計画 2.セキュリティシステムと連動した勤怠管理システム 3.商社におけるキャッシュレス化を指向した社内出納業務システム
対象とする企業・機関	
② 企業・機関などの種類・業種	1.建設業 ②製造業 3.電気・ガス・熱供給・水道業 4.運輸・通信業 5.卸売・小売業・飲食店 6.金融・保険・不動産業 7.サービス業 8.情報サービス業 9.調査業・広告業 10.医療・福祉業 11.農業・林業・漁業・鉱業 12.教育（学校・研究機関） 13.官公庁・公益団体 14.特定しない 15.その他（ ）
③ 企業・機関などの規模	1.100人以下 2.101～300人 ③301～1,000人 4.1,001～5,000人 5.5,001人以上 6.特定しない 7.分からない
④ 対象業務の領域	1.経営・企画 ②会計・経理 3.営業・販売 4.生産 5.物流 6.人事 7.管理一般 8.研究・開発 9.技術・制御 10.特定しない 11.その他（ ）
システムの構成	
⑤ システムの形態と規模	①.クライアントサーバシステム ア.（サーバ約 1 台、クライアント約 10 台） イ.分からない 2.Webシステム ア.（サーバ約 台、クライアント約 台） イ.分からない 3.メインフレーム又はオフコン（約 台） 及び端末（約 台）によるシステム 4.その他（ ）
⑥ ネットワークの範囲	①.他企業・他機関との間 ②.同一企業・同一機関の複数事業所間 3.単一事業所内 4.単一部門内 5.なし 6.その他（ ）
⑦ システムの利用者数	1.1～10人 2.11～30人 ③.31～100人 4.101～300人 5.301～1,000人 6.1,001～3,000人 7.3,001人以上 8.特定しない 9.分からない
計画策定又はシステム開発の規模	
⑧ 総工数	①.（約 100 人月） 2.分からない
⑨ 総額	①.（ 100 ）百万円（ハードウェア費用を ア.含む イ.含まない） 2.分からない
⑩ 期間	①.（ 2013 年 10 月 ）～（ 2014 年 8 月 ） 2.分からない
計画策定又はシステム開発におけるあなたの立場	
⑪ あなたが所属する企業・機関など	①.ソフトウェア業・情報処理・提供サービス業など 2.コンピュータ製造・販売業など 3.一般企業などのシステム部門 4.一般企業などのその他の部門 5.その他（ ）
⑫ あなたの担当業務	1.情報システム戦略策定 2.企画 ③.要件定義 ④.システム設計 ⑤.ソフトウェア開発 ⑥.システムテスト ⑦.導入 8.運用・評価 9.保守 10.その他（ ）
⑬ あなたの役割	1.全体責任者 ②.チームリーダー 3.チームサブリーダー 4.担当者 5.企画・計画・開発などの技術支援者 6.その他（ ）
⑭ あなたが所属するチームの構成人数	（約 4 ～ 13 人）
⑮ あなたの担当期間	（ 2013 年 10 月 ）～（ 2014 年 8 月 ）

論文と添削コメント

本文（設問ア） 800字以内で記述してください。

第一章 業務統合に伴う情報システムのコード統一の概要と、コード統一に関する問題

1. 1 情報システムのコード統一の概要

A社は、洋菓子を主に取り扱っている菓子メーカーである。地元の食材を使った菓子は、国内外の観光客を対象にして、売り上げを伸ばしている。取引量の増加に伴い、今後の供給量の増加を見込み、A社は、食材の調達先である農業生産法人と経営統合を行うこととなった。A社は農業生産法人との経営統合に当たって、情報システムの統合を行うこととなった。私はベンダーのシステムアーキテクトとして、業務統合に伴う情報システムのコード統一に携わった。対象の業務は経理の決算業務である。A社の財務諸表と統合する農業生産法人の財務諸表を連結するために、勘定科目を統一し、決算処理する必要があった。そこで、会計に関わる諸情報のコード統一を検討した。

100字

200字

300字

400字

上手い！

論述の範囲が広がりすぎるのでは。絞って論述した方がよいです。

1. 2 コード統一に関する問題

新コード体系を整備するに当たり、経営層より、経理の月次決算業務を短縮したいという要望があった。A社は取引量の増加に伴い、月次決算業務の完了期日が翌月半ばにまで至っていた。月次決算業務の短縮を目的とした新会計システムの開発と、統一コード体系の作成には次のような問題があった。A社と農業生産法人の財務コードの体系が異なる。更に、両社内での調達、製造、生産、会計、人事の各管理システム間においても、コードが統一されていないことが明らかになった。

500字

600字

読んでいて色々と書きすぎのような印象を受けます。設問イ、ウにおいて、全部まとめることができるのか、心配です。

以上の問題と目的を踏まえて、私はA社の経営統合に伴う情報システムのコード統一を進めるに当たり、次のように考えた。

700字